

令和元年度

医療事故調査制度研修会（公益社団法人日本歯科医師会へ委託）

歯科の特殊性を網羅した事例を用い、医科と適切な連携のあり方、また院内調査に対する支援と報告書の作成まで、全国の歯科医療機関に携わる人材を育成することを目的とした研修。

◇開催日：令和2年1月26日（東京）

◇受講者：歯科医師78名、歯科衛生士1名、事務1名 計80名

◇プログラムおよび講師

10：30～10：38	開会 遠藤 秀樹（日本歯科医師会 副会長） 挨拶 堀 憲郎（日本歯科医師会 会長） 住友 雅人（日本歯科医学会連合 理事長）
10：38～10：47	来賓挨拶 渡邊 颯一郎（厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室 室長） 高久 史磨（日本医療安全調査機構 理事長） 城守 国斗（日本医師会 常任理事）
10：47～11：07	講演 ①医療安全に関する最近の話題および医療事故調査制度等について 渡邊 颯一郎（厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室 室長）
11：07～11：37	②「医療事故調査制度」の概念—制度の理念・考え方、事故の判断— 木村 壯介（日本医療安全調査機構 常務理事）
11：37～12：07	③医療事故調査制度、支援団体の立場で 上野 道雄（日本医師会 医療安全対策委員会 副委員長）
13：00～13：15	研修 ①ビデオ研修
13：15～13：35	②歯科における対応事例 佐藤 慶太（日本歯科医学会連合 医療事故調査委員会 副委員長）
13：35～15：25	③グループワーク
15：25～15：40	④発表
15：40～16：00	解説 佐藤 慶太（日本歯科医学会連合 医療事故調査委員会 副委員長）
16：00～16：20	質疑応答
16：20～16：25	総括 小林 隆太郎（日本歯科医学会連合 専務理事）
16：25～16：30	閉会 三井 博晶（日本歯科医師会 常務理事）